



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 増田製粉所
コード番号 2008 URL <http://www.masufun.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武政 亮佐
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 岩永 和弘

TEL 078-681-6701

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,044	2.6	373	11.6	382	14.7	165	32.6
23年3月期第2四半期	4,915	△7.4	335	9.0	333	10.2	125	3.4

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 218百万円 (36.5%) 23年3月期第2四半期 160百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	18.19	—
23年3月期第2四半期	13.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	6,800	3,560	45.7
23年3月期	7,583	3,398	39.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 3,106百万円 23年3月期 2,995百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	6.00	6.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	2.8	500	8.0	480	5.1	250	5.5	27.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	10,000,000 株	23年3月期	10,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	877,276 株	23年3月期	877,276 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	9,122,724 株	23年3月期2Q	9,123,223 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において合理的であると判断するデータに基づいて作成しており、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。また、業績の予想の前提となる仮定等については、(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、回復基調にあるものの、雇用情勢や個人所得が好転するには至らず、消費者の先行き不安感から節約志向が依然として高く、経営環境は非常に厳しいものとなりました。また、東日本大震災とそれに続く原発事故、電力不足などの影響で、経済活動は大きく落ち込み、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは企業体質強化に努め、合理化、効率化を強力に推進し、当社グループの販売網や製品特性を活かした販路拡大の促進など、業績の向上に努力いたしますとともに、業務提携先である日東富士製粉株式会社とのシナジー効果の創出に注力いたしました。一方で、外国産小麦の政府売渡価格が平成23年4月から平均18%引き上げられたことに伴い、業務用小麦粉の販売価格を改定いたしました。

この結果、当第2四半期の売上高は50億4千4百万円（前年同期比1億2千9百万円増、2.6%増）となりました。営業利益は3億7千3百万円（前年同期比3千8百万円増、11.6%増）、経常利益は3億8千2百万円（前年同期比4千8百万円増、14.7%増）、四半期純利益は1億6千5百万円（前年同期比4千万円増、32.6%増）、包括利益は2億1千8百万円（前年同期比5千8百万円増、36.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当社グループは、従来、製粉・食品・畜産の3つを報告セグメントとしておりましたが、平成23年4月1日より、報告セグメントを製粉・食品の2つに変更し、報告セグメントに含まれない「その他」の区分に含まれる事業を製粉セグメントに統合しております。

①製粉

当社グループの主要事業である製粉事業におきましては、拡販に努めた結果、数量ベースで前年を上回りました。その結果、売上高は26億6千8百万円（前年同期比6千1百万円増、2.3%増）、営業利益は1億8千7百万円（※前年同期比8千9百万円減、32.5%減）となりました。

※当社グループは、従来、製粉・食品・畜産の3つを報告セグメントとしておりましたが、平成23年4月1日より、報告セグメントを製粉・食品の2つに変更し、報告セグメントに含まれない「その他」の区分に含まれる事業を製粉セグメントに統合しております。また、それと同時に全社費用の配賦方法を見直しております。これにより、従来調整額に含まれていた全社費用の金額である1億9百万円が製粉セグメントの営業費用に含まれることとなり、製粉の営業利益が同額減少しております。

②食品

食品事業におきましては、早い梅雨明けとその後の猛暑の影響で手延素麺の販売が伸びたことにより、売上高は23億7千5百万円（前年同期比2億4百万円増、9.4%増）、営業利益は1億8千6百万円（前年同期比1千5百万円増、9.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産残高は前連結会計年度末に比べ7億8千3百万円減少し、68億円となりました。

流動資産残高は前連結会計年度末に比べ6億5千1百万円減少し、33億7千7百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が3億5千5百万円増加した一方で、商品及び製品が4億6千9百万円、未収入金が6億3千万円減少したことによるものであります。

固定資産残高は前連結会計年度末に比べ1億3千2百万円減少し、34億2千2百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が9千1百万円減少したことによるものであります。

負債の残高は、前連結会計年度末に比べ9億4千5百万円減少し、32億3千9百万円となりました。この主な要因は、短期借入金が8億4千万円減少したことによるものであります。

純資産の残高は、利益剰余金が1億1千1百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ1億6千1百万円増加し、35億6千万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前年同四半期連結累計期間末に比べ1億5千万円増加し、9億8千2百万円となりました。

当第2四半期末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は、8億1千7百万円（前年同期は4億2千6百万円の獲得）となりました。これは主として、税金等調整前当期純利益が3億7千7百万円、減価償却費が1億8千5百万円となったこと、たな卸資産が4億5千4百万円減少したことによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果獲得した資金は、4億9千万円（前年同期は9千8百万円の使用）となりました。これは主として、事業譲渡による収入6億5百万円によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、9億5千3百万円（前年同期は5千9百万円の使用）となりました。これは主として長短借入金の返済8億9千6百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月11日の「平成24年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	627,910	982,982
受取手形及び売掛金	1,018,861	1,123,294
商品及び製品	979,004	509,519
原材料及び貯蔵品	658,210	673,041
繰延税金資産	43,836	48,910
その他	705,634	44,527
貸倒引当金	△4,969	△4,832
流動資産合計	4,028,488	3,377,443
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,453,743	1,421,117
機械装置及び運搬具（純額）	1,151,577	1,084,015
土地	377,665	377,665
その他（純額）	39,954	48,453
有形固定資産合計	3,022,940	2,931,252
無形固定資産		
その他	6,990	6,770
無形固定資産合計	6,990	6,770
投資その他の資産		
投資有価証券	330,930	329,235
長期貸付金	6,081	5,188
繰延税金資産	13,814	9,604
その他	184,935	150,495
貸倒引当金	△10,257	△9,709
投資その他の資産合計	525,505	484,814
固定資産合計	3,555,436	3,422,836
資産合計	7,583,925	6,800,279

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	524,474	510,188
短期借入金	2,833,004	1,993,004
未払法人税等	107,362	164,238
役員賞与引当金	8,000	2,500
その他	320,699	261,456
流動負債合計	3,793,540	2,931,387
固定負債		
長期借入金	215,906	159,404
退職給付引当金	62,877	65,797
その他	113,014	83,389
固定負債合計	391,797	308,590
負債合計	4,185,338	3,239,977
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	67,638	67,638
利益剰余金	2,571,697	2,682,874
自己株式	△202,486	△202,486
株主資本合計	2,936,848	3,048,026
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,060	58,129
その他の包括利益累計額合計	59,060	58,129
少数株主持分	402,677	454,145
純資産合計	3,398,586	3,560,301
負債純資産合計	7,583,925	6,800,279

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	4,915,361	5,044,503
売上原価	3,950,167	4,050,812
売上総利益	965,193	993,691
販売費及び一般管理費	630,168	619,854
営業利益	335,024	373,836
営業外収益		
受取利息	111	82
受取配当金	5,435	6,442
助成金収入	2,003	5,813
貸倒引当金戻入額	—	852
その他	5,532	4,773
営業外収益合計	13,082	17,963
営業外費用		
支払利息	12,902	8,820
その他	2,051	885
営業外費用合計	14,954	9,705
経常利益	333,153	382,094
特別利益		
固定資産売却益	—	376
貸倒引当金戻入額	1,145	—
特別利益合計	1,145	376
特別損失		
固定資産除却損	19,447	2,029
投資有価証券評価損	18,009	3,225
特別損失合計	37,457	5,254
税金等調整前四半期純利益	296,841	377,216
法人税等	124,267	158,445
少数株主損益調整前四半期純利益	172,574	218,770
少数株主利益	47,459	52,856
四半期純利益	125,114	165,914
少数株主利益	47,459	52,856
少数株主損益調整前四半期純利益	172,574	218,770
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,149	180
その他の包括利益合計	△12,149	180
四半期包括利益	160,425	218,951
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	113,853	164,983
少数株主に係る四半期包括利益	46,572	53,968

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	296,841	377,216
減価償却費	203,266	185,054
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	361	△684
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,836	2,919
受取利息及び受取配当金	△5,547	△7,377
支払利息	12,902	8,820
有形固定資産除却損	19,447	2,029
投資有価証券評価損益 (△は益)	18,009	3,225
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△12,234	38,776
売上債権の増減額 (△は増加)	△185,521	△104,433
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△291,646	454,653
仕入債務の増減額 (△は減少)	400,217	△14,286
その他	37,891	△24,347
小計	496,823	921,567
利息及び配当金の受取額	5,547	7,377
利息の支払額	△13,215	△8,976
法人税等の支払額	△62,912	△102,519
営業活動によるキャッシュ・フロー	426,243	817,448
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△94,926	△114,685
有形固定資産の除却による支出	△4,940	—
無形固定資産の取得による支出	—	△1,220
投資有価証券の取得による支出	△624	△1,262
事業譲渡による収入	—	605,715
貸付金の回収による収入	1,832	1,949
その他	138	400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△98,519	490,896
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	90,000	△840,000
長期借入金の返済による支出	△92,552	△56,502
自己株式の取得による支出	△33	—
配当金の支払額	△54,158	△54,271
少数株主への配当金の支払額	△2,500	△2,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△59,243	△953,273
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	268,479	355,071
現金及び現金同等物の期首残高	563,675	627,910
現金及び現金同等物の四半期末残高	832,155	982,982

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額 (注) 2
	製粉	食品	畜産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,607,774	2,171,334	136,253	4,915,361	—	4,915,361
セグメント間の内部売上高又は振替高	80,334	8,074	—	88,408	△88,408	—
計	2,688,109	2,179,408	136,253	5,003,770	△88,408	4,915,361
セグメント利益又は損失(△)	276,928	170,421	△18,951	428,397	△93,373	335,024

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

利益	金額
セグメント間取引消去	17,610
全社費用※	△110,983
合計	△93,373

※ 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額 (注) 2
	製粉	食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,668,922	2,375,580	5,044,503	—	5,044,503
セグメント間の内部売上高又は振替高	80,498	8,217	88,715	△88,715	—
計	2,749,420	2,383,798	5,133,218	△88,715	5,044,503
セグメント利益	187,048	186,055	373,103	732	373,836

(注) 1. セグメント利益の調整額732千円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来、製粉・食品・畜産の3つを報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間の期首より、報告セグメントを製粉・食品の2つに変更し、報告セグメントに含まれない「その他」の区分に含まれる事業を製粉セグメントに統合しております。また、それと同時に全社費用の配賦方法を見直しております。

これは、前連結会計年度末に畜産事業を譲渡したことを契機に、業績管理の方法を見直したことに伴い、従来配賦不能営業費用とみなしていた全社費用についてセグメント別の営業利益をより適切に表示するために一定の配賦基準により各セグメントに配賦したものであります。

これにより、従来調整額に含まれていた全社費用の金額である109,964千円が製粉セグメントの営業費用に含まれることとなり、製粉のセグメント利益が同額減少しております。なお、上記「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」における前第2四半期連結累計期間の情報については、変更後の報告セグメント及び、変更前の全社費用の配賦方法により作成しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。